課題申請用 下書き様式

＜一般課題・大学院生提案型課題（構造生物学分野・産業利用分野以外）、緊急・特別課題＞

**4施設（SPring-8/SACLA、J-PARC MLF、「京」/「富岳」を含むHPCI）連携利用の場合は、対象の施設にチェックしてください。**

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

１．申請期（選択必須）※課題種・申請期によって選択可能なビームラインが異なります

|  |
| --- |
|  |

２．実験課題名（入力必須）

　2-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　2-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

３．審査希望分野（手法）（入力必須）

|  |
| --- |
| [希望審査分野一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/reviews_j.pdf)を参照 |
| 大分類（分科）：  | 中分類 | 小分類： |

４．希望ビームライン・装置 ([装置一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/equipment.pdf))

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ビームライン | 装置 |
| 第1希望（入力必須） |  |  |
| 第2希望 |  |  |
| 第3希望 |  |  |

５．研究分野分類

|  |  |
| --- | --- |
| [研究分野分類表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/research_area_j.pdf)を参照（入力必須） | 小分類 その他の場合のコメント |
| 　大分類： | 　小分類： |  |

６．サイエンスキーワード（最大50文字）

|  |
| --- |
|  |

７．所要シフト数[１シフト＝８時間]（積算根拠を「実験方法の項目に記述すること」）

|  |
| --- |
| ・ ?? シフト × ?? 回（入力必須）・ ?? シフト × ?? 回・ ?? シフト × ?? 回（例：6シフト×１回、3シフト×2回という組み合わせが可能です） |

８．運転モード（詳細は右記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| 希望なし(いずれのモードでも可)：＿＿　等間隔モード（A or B or Cモード：いずれかのモード指定なし）：＿＿　モード指定必須：＿＿　 |

９．モード希望単位

|  |
| --- |
| （モード指定必須選択時）モード希望順位（A, B, C, D, E, F, G, H）※第1希望：＿＿　第2希望：＿＿　第3希望：＿＿　第4希望：＿＿　第5希望：＿＿　その他：＿＿ |

※ D,EモードはA期のみ、F,GモードはB期のみ運転します。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

１０．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属

|  |
| --- |
|  |

注）共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

１１．安全に関する記述、対策

11-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験（　）放射性同位元素の持込み及び使用（　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更（　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用（　）法規制されている装置等の設置（　）法規制されている化学物質の使用（　）特定外来生物の持込み（　）牛の特定部位の持込み（　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み（　）遺伝子組換え実験（　）ヒト由来材料を用いる実験（　）高出力レーザ機器の持込み（　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み（　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](https://user.spring8.or.jp/?p=28858)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

11-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

11-3　測定試料及びその他の物質（入力必須：最低1項目は全ての欄に記入してください。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態(形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11  | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※6：組成も記入すること。略称不可。

※7：形態とは持ち込む時の状態、形状とは中の物質の状態をいう

（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。

※8：単位を付けること。

※9：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物など。

※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。

※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細はこちら(<http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j>)。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。

11-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

１２．提案理由（最大2,500文字）（入力必須）

研究の意義、目的、特色、期待される成果、SPring-8を必要とする理由を必ず含むこと。

|  |
| --- |
| 本提案の概要として、冒頭に350文字以内で、真に実施すべき本質的なテーマへの取り組みである理由など、本提案のアピールポイント等を記入してください。 |

１３．本申請に関わる準備状況、これまでに採択された課題との関係、他に申請課題がある場合は

　　　その課題との関係、同種実験の経験。（最大600文字）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１４．実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（最大3,000文字）

　　（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１５．ビームライン選定の理由（最大300文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１６．使用するエネルギー（波長）又は特性線（例：Pb-L）（最大300文字）

　　（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１７．シフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ６：論文　■■■■■

１８．【学術分野】本研究に関わる実験責任者の主な発表論文（最大3報、そのうちSPring-8で得られた成果に＊印）と、これまでの研究の進捗状況が分かるように、各論文について2行程度の説明を記述。

【産業利用分野】本研究に関わる論文、学会発表、社内報掲載、受賞（社内表彰も含む）、展示会出品、特許出願、広告、新聞発表等があれば記載。各発表物について、本研究との関係がわかるように2行程度の説明を記述。

※記載すべき内容がない場合は「特になし」とご記入ください。（最大2,000文字）（入力必須）

発表論文等①（入力必須）

|  |
| --- |
| SPring-8に登録済みの論文は、「自分が関連する論文リスト」から転記できる機能をご利用ください。(ORCID iD　およびresearchmapのURLについて)ORCID iD　およびresearchmapのURLをお持ちの方は、マイページのアカウント情報よりご入力ください。基本情報として申請書に反映されます。 |

発表論文等②

|  |
| --- |
|  |

発表論文等③

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ６’：大学院生提案型（大学院生提案型課題のみ記入）　■■■■■

１９．指導教員についての情報

|  |  |
| --- | --- |
| 指導教員のユーザーカード番号 |  |
| 指導教員名 | 自動入力されます |
| 指導教員の所属 | 自動入力されます |

■■■■■　ページ６’’：連携利用プログラム\*　■■■■■

\*該当者のみ

|  |  |
| --- | --- |
|  | （該当するもの全てにチェック） |
| X線自由電子レーザー施設 SACLA | □ |
| 中性子線施設 J-PARC MLF | □ |
| 「京」/「富岳」を含むHPCI | □ |

２０．連携利用施設（複数選択可）

２１．連携利用内容（最大5,000文字）

※SPring-8と、SACLA、J-PARC MLFまたは「京」/「富岳」を含むHPCIを利用すること（連携して実施する研究内容、各施設の利用が必要な理由、連携利用の特徴・利点、連携して利用することにより期待される効果、など）を明記してください。

また、連携利用を行う課題であることを確認するため、SACLA、J-PARC MLFまたは「京」/「富岳」を含むHPCIにおける課題情報（これら施設で実施済課題の場合は、利用施設名、利用時期、課題番号、課題名、課題責任者所属・氏名または研究グループ名など。これら施設の利用を同時期に申請する課題の場合は、施設名、申請期、課題名、課題責任者所属・氏名または研究グループ名など[予定を含む]）を明記してください。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ７：画像ファイル添付　■■■■■

２２．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3: